

#### 第4回備前市歴史文化基本構想策定委員会要点録

日時：平成24年7月16日（月）海の日 13:00～14:00

会場：八塔寺山荘

上西委員長 あいさつ 昨年度3回会議とワークショップをした。昨年度は具体案がなく、不安な面もあったが、今日は備前市のたたき台をもとに考えていきたい。ただ詳細にはできているが、総花的になっているので、具体的に地域や備前市全体でどうやって元気になっていただくか、重点的に考えていきたい。

松山村長 ふるさと村長としてあいさつ。

事務局 ①②日生地区の委員会・ワークショップを説明。その際、具体的なたたき台を出すよう指示をいただいたので、本日ここにお示しする

②の骨子案とたたき台をもとに、目次に従い概略説明。新総合計画とあうような形で構想を策定した。このたたき台は第4章がポイントなので、ここを協議いただきたい。また第7章についても協議をお願いしたい。

上西委員長 第4章について、6つでいいのか、もっと増やす方がいいのか。未来につながり町が元気になるような形で設定するのがいいとは思いますが、新庄地区の古墳が抜けているのが気になるが……。かといってどういふかたちで入れていいのかわからない。

倉地委員 関連文化財群と歴史文化保存活用区域の関係をどう考える？関連文化財群をどうとらえればいいのか？

事務局 歴史文化保存活用区域は、文化庁がモデル事業として示した中で設定した考え方で、行政的に特に重点を置く地域ともいえる。ある意味お金を重点的に入れるという意味とも言えるかもしれない。

倉地委員 行政的にお金を入れる地域の指定と説明ができるのか。

事務局 そこまでは具体的に行政が重点を置く地域を明示するのはどうかと思うので、関連文化財群を提示して、そこから先はみんなで考えていきましょうの方がいいかもしれない。

倉地委員 地域にはそれぞれ個性がある。景観自然を含めて区域をある程度指定して考えるものと思っていたが、そういう意味ではないのですね。

事務局 もう少し広い地域を考えています。

倉地委員 それならこの6つでいいのではないかと思います。

事務局 佐渡市の例では3つぐらいにまとめられていたが、備前の場合は歴史的に資源が多いので、三つにはまとめられなかった。

上西委員長 はじめて八塔寺に来たが、非常にいい場所だと思う。

倉地委員 第7章は全部削らなくても、1の(1)～(8)は入れておいた方がいい。大事なところだと思う。3を次回の協議事項ということで。

狩山委員 文化財群を設定しないと予算がつかないのか。

事務局 モデル事業では言葉をより抽象的にし、絞り込んでいる。備前ではそこまで

進められていないので、絞り込みができていない。

上西委員長 これだけあげておけば大丈夫と思う。新庄の古墳群は気になるが、この6つがあれば地域おこしにつながるのではないかと思う。

岡本委員 どこかに自分の住んでいる地域が入っていればうれしく思うもの。西鶴山、香登周辺がないのが気になる。それぞれの地域が将来の街づくりにつながるようなものがでてくれればうれしい。

上西委員長 香登にも、備前焼やお歯黒などがある。これからどのようにまとめるか。

岡本委員 前々回の会議で文化的な景観の中に、香登が「山陽道の集散地としてにぎわった商家の街並み」として入っている。香登はこれを入れてもいいのでは。また、天然記念物や民俗や習俗などもこの中にいれていかなくては、地域からなくなってしまう可能性が大きい。

岩崎委員 6の「映画と文学、心象風景をもつ地域」の抽出の仕方が難しいのでは。

事務局 日生から片上湾にかけて多く文学者が排出している。それは出身地であり、また一時居住地である。県内でも文学者は比較的多いのでは。映画のロケ地も多くある。これをどう生かすかを考えるところまではつめていない。

岩崎委員 景観というのか原風景というのか、そういう捉え方なのか。

事務局 何とかグループ化できないかと考えたが・・・。

岩崎委員 わかるのだが、範囲がいのでは。

事務局 心象風景というのか、田舎に帰った感というのか、そういうものがまとめられないかと・・・。

倉地委員 この枠組みが今までになったものなので、捉えにくいのだと思う。例えば文学館を核にして心象風景につなげ、材料がロケ地や文学作品と考えるとどうだろうか。

上西委員長 ロケ地はこの場所でないダメということはない。電柱などがなければどこでもいい場合がある。懐かしい風景は田舎にもある。

岩崎委員 今上がっている作家以外にも、備前の地域を取り上げている例がある。どこまで考えるか・・・。

上西委員長 この6を残すか残さないかは今後の課題にしましょう。

岩崎委員 作家たちが多いのは、ひとつのまとまりではあるが・・・。

上西委員長 ロケ地のマップ作りなど方策を立てたほうがいいと思うが、なにかオブザーバーの方で意見がある方は？

尾川さん 閑谷学校と言えば伊里地区になるが、地区を限定すると偏屈になる。合併しても壁がとれない。活動は地区でやらないといけない。矛盾があるだが・・・。

片山さん 柴田錬三郎が眠狂四郎の円月殺法を考えた鶴海まで行くコースを作ると観光客が増えてきた。荒木旅館で柴田錬三郎が執筆したことなど、おかみさんの話もある。藤原審爾のコースもある。観光客はありきたりのものより、このようなものを好む。自然の花や実も入れると、たいへん人気がある。

上西委員長 時間にもなりましたので、このあたりで。

倉地委員 今後の予定は。

事務局      24年度予定していた5、6回を1回分として、次回三石で行いたい。協議する時間も少し長めにとりたい。

ワークショップ「中世山岳仏教の栄華を偲ぶ、ふるさと村を歩く」